



2025年9月14日
9月第二主日礼拝式

46 イエスその御名は

イエスその御名は 栄光につつまれ

イエスその御名は うるわしい輝き

イエス いのち イエス

ちから イエス 愛のみ救い

イエス キリストの

み栄(さか)えは とこしえ

「わたしたちのこの口は」

わたしたちのこの口は 汚れているけど
どうか主がこれをきよめて
賛美を授(さず)けてください

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

あなたのその御名は いつまでもたたえられましよう
私も主を慕(した)いながら
心ささげて たたえます

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

(主の栄光だけが 光り輝くように)

新聖歌426番 「世(よ)には良き友も」

1 世には良き友も数あれど

キリストに勝る良き友はなし 罪人のかしら
われさえも 友と呼びたもう 愛の深さよ

* ああ わがため いのちをも

捨てましし友は 主なる君(きみ)のみ

2 世の中の友は 冷(ひ)えてゆき 暖かき言葉

いつか消ゆとも 変わらぬ愛もて 主はわれに

喜びを与え つねにはぐくむ * (くりかえし)

3 試みの時も 病む日にも 死ぬる間際(まぎわ)にも

そばにいまして 力ある腕を われに伸べ

優しくのたもう 「いと安かれ」と * (くりかえし)

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌 143番 「いとも尊き」

- 1 いともとうとき 主はくだりて 血のあたいもて たみを救い
きよきすまいを 造りたてて
そのいしずえと なりたまえり
- 2 よものくにより えらばるれど 望みも一つ わざも一つ
一つのみかて とともに受けて
ひとりの神を おがみたのむ
- 3 さわのあらそい み民を裂き よびとそしりて 悩むれども
神はたえざる 祈りをきき
なみだに代えて 歌をたまわん
- 4 よにのこる民 さりし民と とともにまじわり 神をあおぎ
とわのやすきを まち望みて
きみの来ますを せつにいのる

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン